

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院間脳下垂体外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分またはご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2014年1月～2017年4月に頭蓋咽頭腫（鞍隔膜下型）のために虎の門病院間脳下垂体外科に入院し、経鼻的腫瘍摘出術を受けられた方。

【研究課題名】

鞍隔膜下型頭蓋咽頭腫の臨床病理像、手術成績と内分泌機能予後

【研究にいたる背景】

頭蓋咽頭腫の治療成績は近年飛躍的に向上していますが内分泌機能予後は依然として不良なことが多いです。頭蓋咽頭腫の中で一般的なトルコ鞍上部から発生する鞍上部型ではなく、トルコ鞍内から発生する鞍隔膜下型の頭蓋咽頭腫は従来から経鼻（経蝶形骨洞）手術の良い適応とされてきました。また鞍隔膜下型は鞍上部型と比べて内分泌機能予後も比較的良好なことが多いと考えられています。しかしその臨床病理像や最近進歩している経鼻内視鏡手術の成績、内分泌機能予後に関する詳細な報告はいまだ少ないのが現状です。

（内分泌機能：ホルモン産生能）

【研究の目的】

今回、当院で経鼻内視鏡手術を行った鞍隔膜下型の頭蓋咽頭腫の症例の臨床病理像と手術成績、特に下垂体茎の温存率や内分泌機能予後を検討します。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年6月26日 ～ 2019年6月30日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

本研究で得た診療情報は虎の門病院外への提供はしません。お名前、ご住所などの特定の

個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院間脳下垂体外科 西岡宏のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、手術記録、CT・MRI 画像データ、病理組織報告書など

【研究代表者】

虎の門病院間脳下垂体外科・西岡宏

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方（ご家族を含む）は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究の対象者（ご家族を含む）が本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018 年 9 月末日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 間脳下垂体外科 西岡宏

電話 03-3588-1111(代表)